

河内地区  
まちづくり  
情報紙

# かわち

第78号

編集/発行  
河内地区まちづくり協議会  
〒329-1105  
宇都宮市中岡本町3221-4  
028-671-3202





自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち

『まちづくり協議会』からの発信

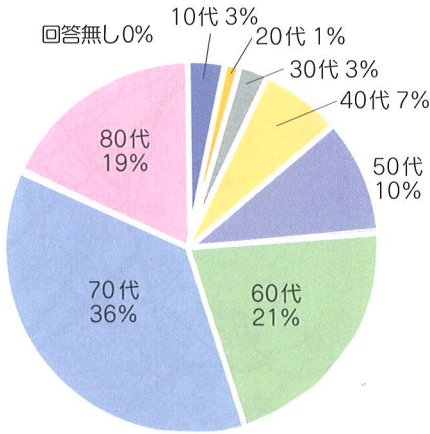


デマンド交通アンケート

済生会宇都宮病院へ乗り入れを検討する為のアンケート結果

～ 回答された総数は 16,025 人でした。結果は以下の通りです。～

問1 (通院している方) 年齢について



通院している1,218人のうち、70代が443人(36%)と最も多く、次いで、60代が256人(21%)、80代が225人(19%)となっている。

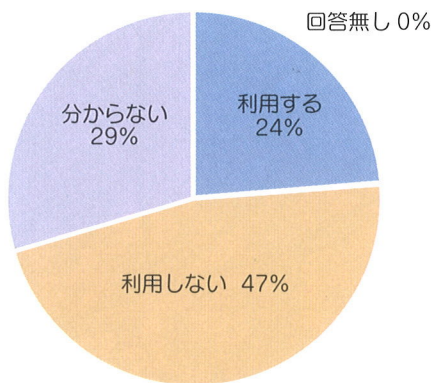
問2 (通院している方) 移動手段について

通院する際の移動手段は「自分で運転する」が764人(63%)と最も多く、次いで「家族の運転」が356人(29%)となっており、鉄道・バス等公共交通利用者は90人(7%)と少ない。

問3 (通院している方) 通院頻度について

通院頻度は1～2カ月に1回が360人(31%)、3～4カ月に1回が304人(26%)と多く、週1回以上通院する人は48人(4%)と少ない。

問4 (通院している方) 乗り入れできるようになった場合、さぎそう河内号を利用しますか



「利用しない」が535人(47%)と最も多く、次いで「分からない」が334人(29%)、「利用する」が270人(24%)と全体の3分の1以下となった。

問5 (問4「利用する」と回答した方) 通院時間帯について

最も多い通院時間帯は「9時」の124人(38%)、次いで「10時」の78人(24%)となっており、さぎそう河内号の利用者が最も多い時間帯と重なっている。

問6 通院時に介護者や歩行器などの補助器具は必要ですか

通院時の介助者、補助器具の有無は「不要」が736人(89%)、「必要」が79人(9%)と、介助を必要としない人が多い。

ロボットに話し掛け「さぎそう河内号」の予約が出来た!!

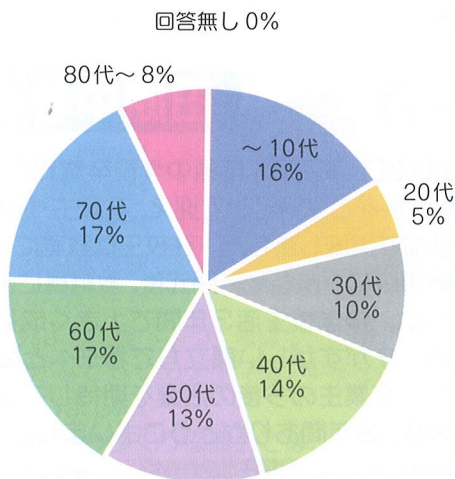
地域内交通「さぎそう河内号」の運営協議会では、小型コミュニケーションロボット「ボッコ・エモ」を利用しての予約配車の実証実験を行いました。

これは、地域内交通の新しい予約配車アプリの導入にともない、予約配車アプリを使うことが難しい高齢者対策として、宇都宮市とITベンチャー企業ユカイ工学が進めているものです。



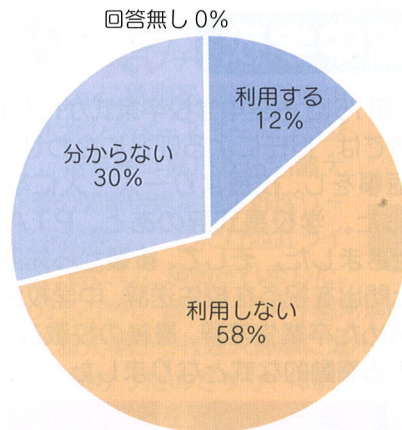


問7 (通院していない方) 年齢について



通院していない8,807人のうち、アンケートに協力した人は70代が1,519人。60代が1,518人と最も多い。

問8 (通院していない方) 乗り入れができるようになった場合、さぎそう河内号を利用しますか



回答者のうち、「利用しない」は5,082人(58%)であったが、将来的に「利用する」は1,048人(12%)となった。

自治会功労者が表彰されました

令和3年度 栃木県知事表彰

川上 幸子 (岡本台ハイツ自治会長)

令和3年度 宇都宮市地域自治振興功労者表彰

山口 裕 (グリーンタウン自治会長)  
 吉田 利美 (前・逆面自治会長)  
 中山 年史 (前・台岡本三区自治会長)

令和3年度 自治会表彰

岡本駅前二区自治会 (舟本 信夫 自治会長)

災害から命を守るために「防災マニュアル」が出来ました。(河内地区防災会)

河内地区防災会では、東日本大震災(平成23年)、関東・東北豪雨(平成27年)、令和元年東日本台風の経験を踏まえ、令和3年6月に「河内地区防災計画」を作成し、各自治会に配布して防災・減災を呼びかけてきました。  
 今回、更なる防災力の向上を目指し、各家庭での取り組みを前提とし、災害時に適切に行動するための防災知識を紹介しますので、ご活用ください。

十年一昔と言われるように、東日本大震災から11年が経過し、震災の記憶も風化が進んでいます。また、近年は大雨や台風により河内地区においても命を守るための行動を余儀なくされる事態が発生していますが、時が経つにつれ記憶が薄れていっているのではないのでしょうか？  
 地震や風水害などの自然災害は、人間の力ではどうすることもできません。しかし、予防対策をすることでその被害を減らすことはできます。これが、防災・減災における備えになります。

備えとしては、災害が発生した時に力を発揮する「共助」といわれる「地域ぐるみの協力体制」です。さらに、被害を最小限にとどめられるよう「自助」の取り組みが重要となってきます。

今回作成した「防災マニュアル」では、自助を含め各家庭での取り組みを前提とし、災害情報収集のほか、地震、風水害、土砂災害、火災における防災情報を紹介しています。もしもの時の災害に備え、活用してください。

なお、防災マニュアルは、お住まいの地域の自治会を通じて配布しています。

発行/河内地区防災会 ■問合せ/河内地区市民センター (TEL:0288-671-3202)



# 地域Topics

ちいきトピックス



## 古里中学校

### 卒業おめでとう

## 田原中学校

3月10日、第75回 古里中学校卒業式が行われました。卒業証書授与では、担任による呼名に合わせて、生徒は大きな声で返事をし、校長より一人一人に卒業証書が授与されました。学校長式辞のあと、PTA会長より祝辞をいただきました。そして、後輩から先輩へ熱い思いのこもった門出を祝う在校生送辞、中学校生活の思い出と感謝を込めた卒業生答辞、最後の校歌斉唱、厳粛な中にも心温まる感動的な式となりました。

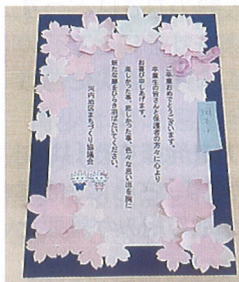
3月10日、第75回 田原中学校卒業式を行いました。PTA会長をご来賓として迎え、卒業生・保護者・教職員のみ参加で実施しました。在校生は教室にてオンラインでの参加になりました。閉式後、教職員による歓送を行いました。中学校生活3年間で大きく成長した卒業生81名が、すがすがしい顔立ちで将来へと巣立っていきました。卒業生の今後の活躍を期待しています。保護者の皆様、3年間ありがとうございました。



## かわち笑顔プロジェクト

### 卒業生へ祝い菓子のプレゼント

まちづくり協議会では河内地区内の10校の卒業生へ約650個のお菓子を、各小中学校の地域協議会のコーディネーターの方々と袋詰め作業をし、祝辞と共に学校へ届けました。



## 河内中学校

3月10日、第36回河内中学校卒業式が行われ、卒業生121名が巣立っていきました。コロナ禍で制限がかり、毎日が元気いっばいの学校生活とはいきませんが、その中でも、運動会や合唱コンクールの学校行事、委員会活動、部活動等、学校のリーダーとして精一杯取り組む姿を見せてくれました。卒業生の皆さん、在校生、教職員一同、今後の活躍を祈っています。頑張ってください。

